

薬師丸ひろ子

野村宏伸
財津和夫

渡辺真知子
太田裕美
小川一太郎

ひさうちみお
弓川恵子
黒川ゆり

加藤善博
渡川ナ良
中沢三子
小松政夫
村松純

桃井カおり

森田芳光
監督作品

PRODUCED BY YOSHIO KUROKI. DIRECTED BY YOSHIO KUROKI.

MAIN THEME

HIROKO YAKUSHIMARU

メインテーマ

DOLBY STEREO
IN SELECTED THEATERS

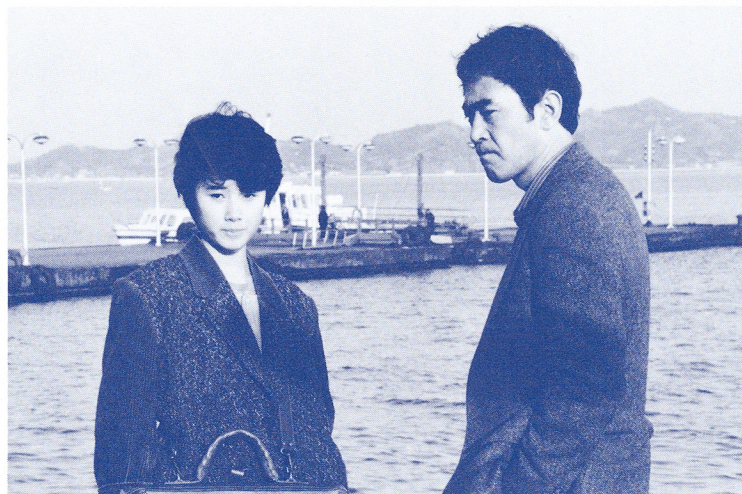
●製作／角川春樹●原作／片岡義男のドカワノベルズ版●脚本／森田芳光●撮影／前田米造●主題歌／薬師丸ひろ子「東芝EMI」●製作／角川春樹事務所●製作協力／株式会社ユニバーサル・プロダクション●配給／東映●協力／全日空

愛つてよくわからないけど傷つく感じが素敵……



愛情物語

Love
CURTAIN CALL
TOMOYO HARADA



いろいろな恋心が微妙にからみ、不思議な四角関係が？ それぞれが自分を見つめなおし、そこで見つける本当の自分らしさ、自分の「メイン・テーマ」とは……。

原作は、片岡義男の同名小説。これを昨年「家族ゲーム」で数々の映画賞に輝いた森田芳光が監督・脚本。主演に薬師丸ひろ子。今年6月で20才になる薬師丸にとってこの『メイン・テーマ』は大人へのモニユメント的な作品となる。今回の役柄は、元幼稚園の先生という設定。年上の男性に憧れたり、年下の男の子に意地を張ってみたり、年上の女性にライバル意識をもったり、と20才の女の子としては平均的のようでもあり、ちよつと変わったところもある、といったヒロイン像を生き々と演じている。

評されたフレッシュな個性は、ニュー・スター誕生を充分に感じさせる。この二人にからむ年上の男女に、桃井かおりとチューリップのリーダー、財津和夫。桃井はジャズ歌手という役柄から、劇中でスタンダードナンバーを4曲披露する。他に太田裕美、渡辺真知子、ひさうちみちおなどユニークなキャラクターが映画を盛り上げている。

また、ロケ地として全編の60%近くを沖縄で撮影、爽やかなドラマの背景にふさわしい画面となっている。なお、映画主題歌『メイン・テーマ』作詞・松本隆 作曲・南佳孝も薬師丸が唄い、前作『探偵物語』に続き、初夏のヒットチャートの中心となるだろう（東芝EMIより5月16日シングル・リリース）。

日本映画の新しいセンスが集められた『メイン・テーマ』は「この映画で夏の不快指数を下げてみせる」という森田監督の公言通りの爽やかな、そしてグレイドの高い恋愛映画となつて、この夏、スクリーンに登場する。

どこかで、きつと自分を見守ってくれている大きな愛。それを確かめに旅立つ一人の少女の小さな冒険……。名作「あしながおじさん」をモチーフに新たな感動ドラマが生まれた『愛情物語』は16才の原田知世をイメージして描いた同名小説を原作に、角川春樹プロデューサーが自らメガホンをとった作品である。

物語は、孤児ではあるが育ての親のもと明るく成長した少女が、毎年誕生日に送られる花束の送り主「あしながおじさん」を探す旅を通して、本当の愛を見つけるまでを描く。

ヒロイン・仲道美帆に原田知世。「時をかける少女」で83年夏の話題を独占し、映画各賞の新人賞を総ざらいした知世にとって待ち望まれた主演第2作となる。今回の役柄はミュージカルを目指す少女とあって、ダンス・シーンもたっぷりあり、2才の時から習っているバレエの才能がスクリーンでいかに発揮されるか「動」の魅力を焼きつけている。

「あしながおじさん」と間違われる、陶芸家に渡瀬恒彦、美帆の育ての親に倍賞美津子、他に、加賀まりこ、室田日出男らベテラン陣が映画をかためる。

また、映画主題歌（『愛情物語』作詞・康珍化 作曲・林哲司 東芝EMIよりリリース）も「時を」に続き原田知世自身が唄う。ロマンティックなメロディーは、映画の、そして知世のイメージにピッタリと合っており、「時を」以上の大ヒットが期待されている。

そして「愛情物語」で最大の見せ場となるのがダンス・シーン。まず、冒頭で本物のミュージカルを一つ作りあげている。この劇中ミュージカルの為、スタッフはブロードウェイに飛び、ダンサーをオーディション選考。そして、大泉撮影所に大がかりなセットを組み、日本映画として破格のスケールで撮影が行なわれた。ブロードウェイのダンサー達に囲まれてのダンスとなった知世だが、映画にそなえて半年以上ジャズダンスのレッスンを重ねていただけあって、一歩もひけをとらない見事な踊りを披露し、スタッフにうれしい驚きを与えた。

このミュージカル・シーンの他に、知世の幻想シーンなどでもダンスがあり、海外の音楽プロモーション・フィルムのように華々しく切れのよい画面が展開される。



メイン・テーマ
MAIN THEME
HIROKO YAMASHIMARU

7月14日(土)ロードショー!

きんし町駅前・楽天地ビル4F
本所映画 (631) 3121

劇場窓口にて鑑賞券お買い上げの方に「愛情物語」または「メイン・テーマ」のオリジナル・ポスター付
★特別鑑賞券¥1200円・¥1100円発売中!
■上映時間は劇場にお問い合わせ下さい。